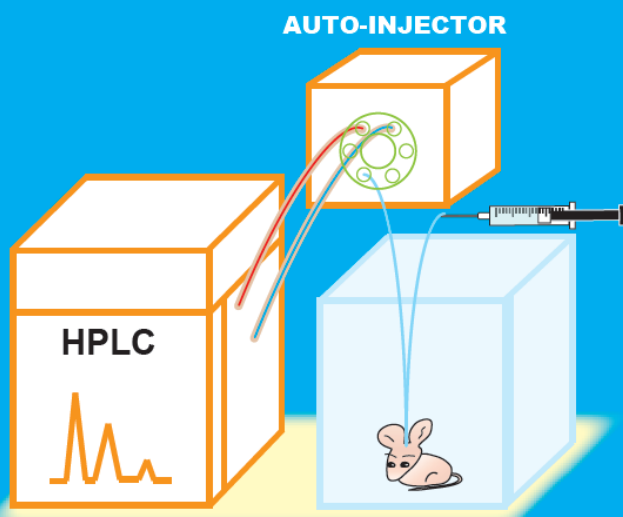


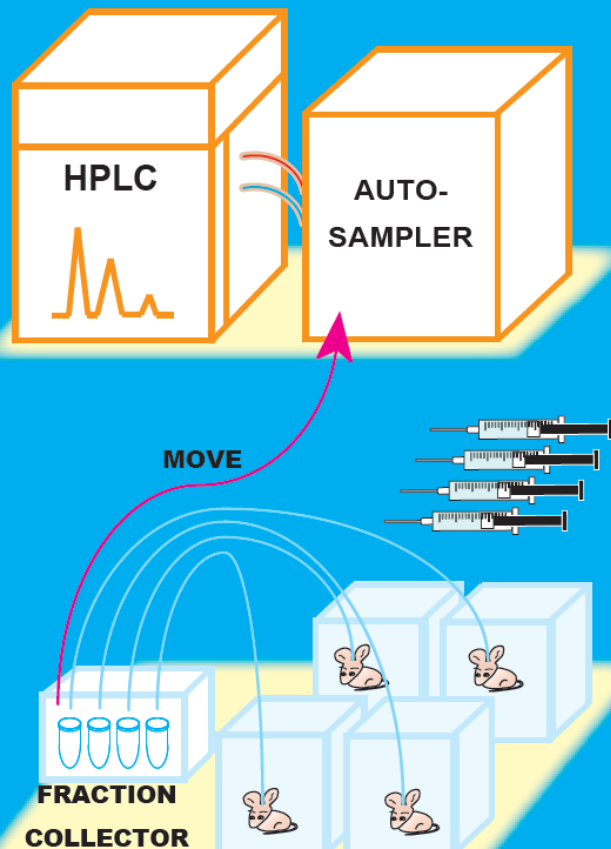
# ONLINE

## SINGLE and DIRECT



# OFFLINE

## MULTI and SEPARATION



## ONLINE

- ・リアルタイムに近いデータ取得  
→ 実験途中での修正ができる
- ・サンプルが外気に触れないので分解を回避
- ・1匹につき1台のHPLCが必要
- ・最短の回収時間はHPLCに依存する  
例 1 分析20分かかるHPLC分析の場合  
20分以下での動物データの取得が出来ない  
(HPLCの分析時間以上の回収時間が必要)

### 注意点

- ・アミノ酸などの誘導体化を必要とする分析不可
- ・N数1に対して、HPLCが1台必要

## OFFLINE

- ・フラクションコレクタとの連携で1台4匹まで回収・測定が可能
- ・HPLCを動物室に設置しなくてよいのでHPLCのトラブルや汚れを回避できる
- ・誘導体化を伴う分析が可能
- ・回収と分析が別でそれぞれ独立しているの  
- 動物にトラブルが起きても測定には影響しない  
- お好みの回収時間を設定できる

### 注意点

- ・フラクションコレクタ・オートサンプラの設置スペースが必要
- ・オートサンプラのデッドボリューム3uL
- ・リアルタイムでの測定ではない為、データ変動があった際に要因がわかりにくい